

※ 外部意見の反映

## 幕別町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の報告書に対する主な意見

本報告書を作成するにあたり、点検及び評価の客観性を確保する観点から、知見の活用として町長部局の部長職等から聴取した主な意見は次のとおりである。

- 「学び隊」「ふるさと館ジュニアスクール」などのボランティアが高齢化と、年金支給年齢引き上げ等から担い手が不足しています。今の事業を継続するためにも、もっと枠を広範囲に考える必要があるのではないのでしょうか。
- 郷土をテーマとした学習機会の充実と推進について、本町の歴史として「幕別町歴史の散歩道を歩く」を選定したが、今後は活用することに重点を置くべきと思います。夏休み等に、児童・生徒・町民を対象にしたツアーを開催してはどうでしょうか。また、少年団活動等で、本町の歴史などの学習のできない小学生に、本町の歴史や文化面の体験学習する機会を企画してはどうでしょうか。（幕別町の文化や伝統の価値を理解し、尊重し、さらに継承・発展させることが重要です。文化や伝統は、子どもの日常の生活の中に生き続けると思います。）
- 高等学校教育の充実については、重大な課題であり教育委員会として、今まで以上の積極的施策、支援が求められていると考えられます。
- 点検評価に関して、町民が学校・家庭・地域社会のさらなる教育力の回復と充実を図るとともに、全ての町民が、これからのあり方を見直し、「文化の香る心豊かな学びのまちづくり」に生かすために、点検・評価結果をどう情報提示するか検討する必要があるのではないのでしょうか。
- 障害のあるなしを問わず、支援を必要とする子どもの相談機能を町として持つことは重要です。より一層の体制整備が求められていると思います。
- 毎年どうしても同じ記載になりがちだと思いますので、例えば「H24 年度の特記事項」の欄を加えるなどの工夫してみてください。
- 幕別町のまちづくりの指針として、本町の進むべき方向を示している「幕別町総合計画」の「施策の方向」に沿って点検評価しており、評価基準が明確であり、評価に基づく事務の見直しにおいても有効であると考えられます。